

令和6年度八雲町教育委員会事務事業・評価個別シート

令和 7 年 12 月 8 日 作成

			担当課(部局)	体育課	係	体育係	
施策の体系	章	4	ふるさとを築く教育の充実と文化・スポーツの振興	法的	法令	条例 ○ その他	
	分野	3	スポーツの推進	根拠等	八雲町教育推進計画		
	主要施策	2	体育・スポーツ活動の充実	実施	○ 直営	委託	その他
	施策	1	各種町民スポーツ事業等の開催	方法	町教育委員会主催事業		
評価事務事業名	子どもスポーツ教室「みんなであそぼう！」開催事業						

事業概要	子どもの運動不足とともに体力低下が懸念されることから、子どもの運動神経が著しく発達する時期の概ね小学校低学年を対象に誰でも気軽に楽しく取り組める運動遊び教室を開催し、子どもの基礎的な体力づくりを図る。							
事業の目的	(1)対象(誰を、何を対象としているのか)			(3)手段(どのような手法、手順で行っているのか)				
	町内在住の小学1年生から小学3年生			個々の運動能力と体の発達段階に応じた運動プログラムを作成し、毎月1回程度、土曜日に町スポーツ推進委員と連携し、実施している。(定員30名)				
	(2)意図(対象をどのような状態にしたいのか)							
1 必要性	運動遊びを通じて、運動の基礎・基本となるバランス感覚や身のこなし等を習得させる。							
	(1)町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 2 点							
		①法令等教育推進を図る上で必要な事業。	1点	⑥管理・運営に関する事業。	1点			
	○	②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	追加事由	1点			
		③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。	1点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。	1点	子どもの運動能力に合わせた種目の設定と楽しく運動できる環境づくりにより、学校体育授業の円滑化や町スポーツ少年団への加入促進にも期待できる。				
	○	⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点							
		①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)	-			
		②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
	③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。	1点	4年目を迎え、徐々にではあるが事業の浸透性が高まっていると思われる。保護者の理解も得ることができ、子どもの安全な遊び場として認知されていると思われる。					
○	④限られた予算の中であっても、事業実施の優先性・必要性は高い。	1点						
○	追加事由 屋外での遊びが安全面から制限されることもある為、体を動かす運動遊びの場を確保するのは必要と考える。	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性 計 2 点							
	○	①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。	1点			
	○	②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。	1点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		③他に類似、重複した事業はない。	1点	子どもの体力や身のこなし方を分かりやすく指導することで、自己効力感を高める効果も期待できる。				
		④町民参加の意識高揚が図られている。	1点					
3 達成度	(1)達成度の測定 計 1 点							
	活動指標 ※具体的な活動の内容	区分	指標(算式)	単位	R4実績	R5実績	R6実績	R6当初計画
		指標①	開催回数	回	10回	11回	11回	11回
			(算式)					
		指標②	参加延べ人数	人	179人	141人	192人	300人(90%)
			(算式)					
		成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標①	開催回数(割合)	%	91%	100%	100%
	(算式)		開催回数(実績)÷計画回数					
	指標②		参加人数(割合)	%	59.7%	47.0%	64.0%	90%
	(算式)		参加延べ人数÷計画人数					
○	①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。			1点 (説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
	②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)			1点 参加されている子どもの参加意欲が見られる。子どもの自然な成長もあるが運動のコツを掴んだことで自信に繋がっているように思える。				
	③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)			-1点				

4 効率性	(1) 事業費の推移 計 0 点									
	区分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算額	R6事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	○	一般財源額
	事業費	千円	9	16	17			低下している		1点
	(財源内訳) 国・道費	千円				区分(節)	金額(千円)	○	変わらない	0点
	地方債	千円				謝金	17		上昇している	-1点
	その他	千円						説明	運営協力者の増	
	一般財源	千円	9	16	17					
(2) 手法の効率化 計 1 点										
○	①現在の手法は、コスト削減にも寄与している。				1点	④法令等で実施内容や手法等が定められる。				1点
	②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地はない。				1点	(説明) 手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。				
	③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地はない。				1点	町有施設を有効利用しているため、天候に左右されることもなく安全安心に開催できている。				

項目別点数による評価	項目別点数による評価結果 B	項目別点数表		→	低 必要性+有効性 高										高達成度+効率性 低	
		項目	点数		0	1	2	3	4	5	6	7	8~			
		1	必要性 4	6												6
		2	有効性 2													
		3	達成度 1	2												4
		4	効率性 1													
																2
																1
																0
																-1
																-2

一次評価(担当課評価)	担当課評価	A	※上記の結果を参考に、事業担当課として、町民ニーズ、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 ※評価は、次のA~Dによります。		
	A 現状にて事業を継続または拡充 (必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも高い)				
	○	現状のまま事業を継続		事業を拡充して継続	
	B 事業の進め方の改善により継続 (必要性・有効性は高いが、達成度・効率性は低い)				
		事業の簡素化、効率化による改善		執行体制の見直し(外部委託等)による改善	
		事業手法の見直しによる改善		住民参加等の推進による改善	
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善		その他効果的・効率的手法の検討による改善	
	C 事業規模・内容等の見直しの検討 (達成度・効率性は高いが、必要性・有効性は低い)				
		制度・事業内容の全面的な見直しを検討		対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討	
		必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討		他の事業、類似事業への統合・転換を検討	
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討		その他		
D 事業の抜本の見直しを検討 (必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも低い)					
	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換
※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇄		廃止可能	条件が整えば廃止検討可能	廃止は困難	その他
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。		今後の改善策等を具体的に記入します。		
	安全安心の遊び場の提供とともに、この運動教室では、子どもの社会性も学び得る良い機会と思う。自然の中で外遊び経験が浅いと思われる現代っ子にとって、柔軟性やバランス感覚等、運動あそびで習得する価値はある。 工夫を凝らし、マンネリ化とならないように継続して行きたい。				

A~現状のまま事業を継続または拡充 B~事業の進め方の改善により継続 C~事業規模・内容等の見直しの検討 D~抜本の見直しを検討

二次評価	外部評価委員会の点検・評価	A	☆コメント 子ども達のコミュニケーションも良くとれる場であり、全体的に子どもの数が減少傾向の中、参加数も増加傾向であることから担当課評価のとおり「A」評価とする。

令和6年度八雲町教育委員会事務事業・評価個別シート

令和 7 年 12 月 8 日 作成

			担当課(部局)	熊石教育事務所	係	教育推進係		
施策の体系	章	4	ふるさとを築く教育の充実と文化・スポーツの振興	法的	法令	条例	○	その他
	分野	3	スポーツの推進	根拠等	八雲町教育推進計画			
	主要施策	2	体育・スポーツ活動の充実	実施	○	直営	委託	その他
	施策	1	各種町民スポーツ事業等の開催	方法	町教育委員会主催事業			
評価事務事業名		小学生スキー教室						

事業概要	熊石地域に在住する小学生を対象にスキー教室を開催し、ルールとマナーを体得させるとともに冬期間における健康、体力づくりを図る。						
事業の目的	(1)対象(誰を、何を対象としているのか)			(3)手段(どのような手法、手順で行っているのか)			
	熊石地域在住の小学生			熊石スキークラブ所属の指導員が受講者のレベルに合わせて、指導を行う。			
	(2)意図(対象をどのような状態にしたいのか)						
スキー場でのルールやマナーの体得、冬期間の健康、体力づくりを図る。							
1 必要性	(1)町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 2 点						
	①法令等教育推進を図る上で必要な事業。	1点	⑥管理・運営に関する事業。	1点			
	②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	追加事由	1点			
	③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。	1点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
	○ ④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。	1点	熊石地域特有のスキー場であり、ロープ塔の乗降指導やルールやマナーにおいて町の関与が必要である。				
	○ ⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等 計 1 点						
	①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)	-			
	②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
	③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。	1点					
○ ④限られた予算の中であっても、事業実施の優先性・必要性は高い。	1点	熊石地域の小中学校のスキー授業実施前にロープ塔の乗降指導やルールやマナーの指導を行う必要がある。					
追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性 計 1 点						
	①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。	1点			
	○ ②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。	1点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
	③他に類似、重複した事業はない。	1点	熊石スキークラブ所属の指導員がマンツーマンで指導にあたることで大きな成果が期待できる。				
④町民参加の意識高揚が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定 計 1 点						
	区分	指標(算式)	単位	R4実績	R5実績	R6実績	R6当初計画
	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標① 開催日数 (算式)		中止	中止	2日	2日
		指標② 参加延べ人数 (算式)		中止	中止	4人	5人
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標① 開催日数(割合) (算式) 開催回数(実績)÷計画回数		中止	中止	100%	100%
		指標② 参加人数(割合) (算式) 参加延べ人数÷計画人数		中止	中止	80.0%	80.0%
		①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
	○ ②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点	熊石地域のスキー場特有のコース形状、ルールやマナーを学ぶことができる。また、参加者の健康や体力づくりの機運を高めることができる。				
	③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点					

4 効率性	(1) 事業費の推移 計 -1 点										
	区分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算額	R6事業費の内訳及び金額		単位コスト	○	一般財源額	
	事業費	千円			6			低下している		1点	
	(財源内訳) 国・道費	千円				区分(節)	金額(千円)	変わらない		0点	
	地方債	千円				報償費	6	○ 上昇している		-1点	
	その他	千円						説明	コロナ禍や申込がなかったこともあり実施できずにしたため事業費は増加した。		
	一般財源	千円			6						
	(2) 手法の効率化 計 2 点										
	○	①現在の手法は、コスト削減にも寄与している。				1点	④法令等で実施内容や手法等が定められる。				1点
	○	②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地はない。				1点	(説明) 手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。				
	③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地はない。				1点						

項目別点数による評価	項目別点数による評価結果 B	項目別点数表		→	必要性+有効性										高 達成度+効率性 低		
		項目	点数		0	1	2	3	4	5	6	7	8~				
		1	必要性 3	4												6	
		2	有効性 1														5
		3	達成度 1														4
		4	効率性 1														3
				2												2	
																	1
																0	
																-1	
																-2	

一次評価(担当課評価)	担当課評価	A	※上記の結果を参考に、事業担当課として、町民ニーズ、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 ※評価は、次のA~Dによります。		
	A 現状にて事業を継続または拡充 (必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも高い)				
	○	現状のまま事業を継続		事業を拡充して継続	
	B 事業の進め方の改善により継続 (必要性・有効性は高いが、達成度・効率性は低い)				
		事業の簡素化、効率化による改善		執行体制の見直し(外部委託等)による改善	
		事業手法の見直しによる改善		住民参加等の推進による改善	
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善		その他効果的・効率的手法の検討による改善	
	C 事業規模・内容等の見直しの検討 (達成度・効率性は高いが、必要性・有効性は低い)				
		制度・事業内容の全面的な見直しを検討		対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討	
		必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討		他の事業、類似事業への統合・転換を検討	
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討		その他		
D 事業の抜本的見直しを検討 (必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも低い)					
	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換
※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇄		廃止可能	条件が整えば廃止検討可能	廃止は困難	その他
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。		今後の改善策等を具体的に記入します。		
	ひらたないスキー場を今後も学校スキー授業やスキー教室で利用するためにはその独自性から事業を継続する必要がある。				

A~現状のまま事業を継続または拡充 B~事業の進め方の改善により継続 C~事業規模・内容等の見直しの検討 D~抜本的見直しを検討

二次評価	外部評価委員会の点検・評価	A	☆コメント 児童生徒の減少とスキー活動の縮小も見られるが地域に残された活動場所の確保や子どもがいるうちは必要な事業であることから担当課評価のとおり「A」評価とする。

令和6年度八雲町教育委員会事務事業・評価個別シート

令和7年12月8日作成

		担当課(部局)		体育課			係		体育係	
施策の体系	章	4	ふるさとを築く教育の充実と文化・スポーツの振興	法的		法令		条例	○	その他
	分野	3	スポーツの推進	根拠等	全道・全国大会選手派遣助成金要綱					
	主要施策	3	全道・全国大会出場選手等派遣助成	実施	○	直営		委託		その他
	施策	1	選手派遣助成	方法						
評価事務事業名		全道・全国大会等選手派遣助成事業								

事業概要	八雲町内の児童・生徒(選手)及び団体が渡島・道南大会の予選会を経て全道・全国大会に出場する場合、補助対象経費を助成する。										
事業の目的	(1)対象(誰を、何を対象としているのか)					(3)手段(どのような手法、手順で行っているのか)					
	全道・全国大会等に出場する町内の児童、生徒及び監督・コーチ(引率者)並びに団体					大会出場経費のうち交通費、宿泊費及び参加費を助成対象経費とし、助成要綱に基づき支援する。※要綱添付					
事業の目的	(2)意図(対象をどのような状態にしたいのか)										
	全道・全国大会等に出場する個人及び団体の競技力の向上は、他の模範となり励みになるほか、町のイメージアップ及び活性化を図ることができる。										
1 必要性	(1)町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 1 点										
		①法令等教育推進を図る上で必要な事業。			1点	⑥管理・運営に関する事業。			1点		
		②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。			1点	追加事由			1点		
		③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。			1点	(説明)関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。					
		○④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。			1点	大会出場に伴う参加経費は、物価高の影響もあり特に宿泊費は、費用負担が大きいため係の経費を助成することで大会出場者の負担軽減を図る事が出来る。					
		⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。			1点						
		(2)社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点									
		①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。			1点	※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)					-
		②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。			1点	(説明)妥当性に関し、内容を具体的に記入します。					
		③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がっている。			1点	大会の出場機会の増加に伴い、個人負担経費の救済措置は緊急性、優位性ともに高い。					
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性 計 4 点										
		○①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。			1点	⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。			1点		
		○②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。			1点	(説明)有効性に関し、内容を具体的に記入します。					
		○③他に類似、重複した事業はない。			1点	中体連等の学校教育活動とは明確に区別した制度であり、町スポーツの競技力向上とともにスポーツの振興が図られるため、本制度の効果は高い。					
		○④町民参加の意識高揚が図られている。			1点						
3 達成度	(1)達成度の測定 計 1 点										
		区分	指標(算式)		単位	R4実績	R5実績	R6実績	R6当初計画		
	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標①	助成対象数		人	12件(選手69名、指導者20名計89名)	19件(選手47名、指導者19名計66名)	26件(選手80名、指導者26名計106名)	15件(選手100名)		
		(算式)									
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標②	対象経費		円	2,403,685円	2,236,821円	2,844,525円	3,000,000円		
		(算式)									
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標①	対象経費に対する助成金額		円	2,396,000円	2,226,000円	2,833,000円	3,000,000円		
		(算式)									
		指標②	当初計画に対する助成金額		%	79.87%	74.20%	94.43%	100%		
		(算式)	助成金額÷計画助成金額								
	①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。			1点	(説明)成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。						
	○②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)			1点	本事業は、数値での成果や効果を表すものではないが、町スポーツ振興の施策事業として目標達成に向けて貢献している。						
	③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)			-1点							

令和6年度八雲町教育委員会事務事業・評価個別シート

令和 7 年 12 月 8 日 作成			担当課 (部局)	体育課	係	体育係	
施策の体系	章	4	ふるさとを築く教育の充実と文化・スポーツの振興	法的	法令	条例 ○ その他	
	分野	3	スポーツの推進	根拠等	八雲町補助金等交付規則		
	主要施策	4	スポーツ指導者・団体等活動支援	実施	○ 直営	委託	その他
	施策	2	各種団体活動支援	方法	北海道日本ハムファイターズ八雲後援会事業補助金		
評価事務事業名	北海道日本ハムファイターズ八雲後援会支援事業						

事業概要	北海道日本ハムファイターズ八雲後援会の活動を支援し、観るスポーツの普及、促進を図り青少年の健全育成及び地域の活性化に寄与する。																																																								
事業の目的	(1)対象 (誰を、何を対象としているのか)	(3)手段 (どのような手法、手順で行っているのか)																																																							
	北海道日本ハムファイターズ八雲後援会	年度毎に開催される八雲後援会定期総会に於いて可決された事業計画に基づき、主要となる事業の経費の一部を補助している。 (R6会員数153名) 【主要事業】 応援バスツアーの実施 【補助手続】 八雲町補助金等交付申請書の受理後、八雲町補助金等交付規則に基づき交付している。																																																							
必要	(2)意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	八雲後援会組織の充実化と観るスポーツの普及、促進を図る。																																																							
	(1)町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 2 点	<table border="1"> <tr> <td>①法令等教育推進を図る上で必要な事業。</td> <td>1点</td> <td>⑥管理・運営に関する事業。</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。</td> <td>1点</td> <td>追加事由</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。</td> <td>1点</td> <td colspan="2">(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。</td> </tr> <tr> <td>○ ④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。</td> <td>1点</td> <td colspan="2">自治体初の後援会を保持し、連携性を深めるとともに観るスポーツの普及促進を図る為、町の関与は必要と考える。</td> </tr> <tr> <td>○ ⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。</td> <td>1点</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>					①法令等教育推進を図る上で必要な事業。	1点	⑥管理・運営に関する事業。	1点	②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	追加事由	1点	③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。	1点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。		○ ④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。	1点	自治体初の後援会を保持し、連携性を深めるとともに観るスポーツの普及促進を図る為、町の関与は必要と考える。		○ ⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。	1点																																	
①法令等教育推進を図る上で必要な事業。	1点	⑥管理・運営に関する事業。	1点																																																						
②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	追加事由	1点																																																						
③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。	1点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。																																																							
○ ④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。	1点	自治体初の後援会を保持し、連携性を深めるとともに観るスポーツの普及促進を図る為、町の関与は必要と考える。																																																							
○ ⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。	1点																																																								
性	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点	<table border="1"> <tr> <td>①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。</td> <td>1点</td> <td>※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>○ ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。</td> <td>1点</td> <td colspan="2">(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。</td> </tr> <tr> <td>③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。</td> <td>1点</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○ ④限られた予算の中であっても、事業実施の優先性・必要性は高い。</td> <td>1点</td> <td colspan="2">応援バスツアーを通じてプロ野球の持つ魅力を広めることで見るスポーツの普及拡大を図る事が出来る。</td> </tr> <tr> <td>追加事由</td> <td>1点</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>					①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)	-	○ ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。		③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。	1点			○ ④限られた予算の中であっても、事業実施の優先性・必要性は高い。	1点	応援バスツアーを通じてプロ野球の持つ魅力を広めることで見るスポーツの普及拡大を図る事が出来る。		追加事由	1点																																	
	①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)	-																																																					
○ ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。																																																							
③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。	1点																																																								
○ ④限られた予算の中であっても、事業実施の優先性・必要性は高い。	1点	応援バスツアーを通じてプロ野球の持つ魅力を広めることで見るスポーツの普及拡大を図る事が出来る。																																																							
追加事由	1点																																																								
有効	(1)成果・協働に対する事業の有効性 計 2 点	<table border="1"> <tr> <td>○ ①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。</td> <td>1点</td> <td>⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>○ ②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。</td> <td>1点</td> <td colspan="2">(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。</td> </tr> <tr> <td>③他に類似、重複した事業はない。</td> <td>1点</td> <td colspan="2">北海道日本ハムファイターズの球団事業活動にも積極的に協力することで連携も深まり、町のPRとともに少年スポーツ教室等の企画運営も期待できる。</td> </tr> <tr> <td>④町民参加の意識高揚が図られている。</td> <td>1点</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>					○ ①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。	1点	○ ②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。	1点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。		③他に類似、重複した事業はない。	1点	北海道日本ハムファイターズの球団事業活動にも積極的に協力することで連携も深まり、町のPRとともに少年スポーツ教室等の企画運営も期待できる。		④町民参加の意識高揚が図られている。	1点																																					
	○ ①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。	1点																																																					
○ ②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。	1点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。																																																							
③他に類似、重複した事業はない。	1点	北海道日本ハムファイターズの球団事業活動にも積極的に協力することで連携も深まり、町のPRとともに少年スポーツ教室等の企画運営も期待できる。																																																							
④町民参加の意識高揚が図られている。	1点																																																								
達成	(1)達成度の測定 計 1 点	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>指標 (算式)</th> <th>単位</th> <th>R4実績</th> <th>R5実績</th> <th>R6実績</th> <th>R6当初計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動指標 ※具体的な活動の内容</td> <td>指標① 応援バスツアーの開催回数 (算式)</td> <td>回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>指標② 参加延べ人数 (算式)</td> <td>人</td> <td>40人 (40人×1回)</td> <td>80人 (40人×2回)</td> <td>81人 (40人×1回) (41人×1回)</td> <td>80人/260人 (40人/130人)×2回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標 ※どれだけの成果が現れたか</td> <td>指標① 開催回数 (割合) (算式) 開催回数(実績)÷計画回数</td> <td>%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>指標② 参加人数 (割合) (算式) 参加延べ人数÷会員数</td> <td>%</td> <td>36.4% (会員数110名×1回)</td> <td>32% (会員数125名×2回)</td> <td>52.9% (会員数153名×2回)</td> <td>61.5% (会員数130名×2回)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。</td> <td>1点</td> <td colspan="3">(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)</td> <td>1点</td> <td colspan="3">町補助金の交付により、後援会の経費負担が軽減され、応援バスツアーが実施できている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)</td> <td>-1点</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>					区分	指標 (算式)	単位	R4実績	R5実績	R6実績	R6当初計画	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標① 応援バスツアーの開催回数 (算式)	回	1回	2回	2回	2回	指標② 参加延べ人数 (算式)	人	40人 (40人×1回)	80人 (40人×2回)	81人 (40人×1回) (41人×1回)	80人/260人 (40人/130人)×2回	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標① 開催回数 (割合) (算式) 開催回数(実績)÷計画回数	%	100%	100%	100%	100%	指標② 参加人数 (割合) (算式) 参加延べ人数÷会員数	%	36.4% (会員数110名×1回)	32% (会員数125名×2回)	52.9% (会員数153名×2回)	61.5% (会員数130名×2回)	○	①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点	町補助金の交付により、後援会の経費負担が軽減され、応援バスツアーが実施できている。				③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点			
	区分	指標 (算式)	単位	R4実績	R5実績	R6実績	R6当初計画																																																		
活動指標 ※具体的な活動の内容	指標① 応援バスツアーの開催回数 (算式)	回	1回	2回	2回	2回																																																			
	指標② 参加延べ人数 (算式)	人	40人 (40人×1回)	80人 (40人×2回)	81人 (40人×1回) (41人×1回)	80人/260人 (40人/130人)×2回																																																			
成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標① 開催回数 (割合) (算式) 開催回数(実績)÷計画回数	%	100%	100%	100%	100%																																																			
	指標② 参加人数 (割合) (算式) 参加延べ人数÷会員数	%	36.4% (会員数110名×1回)	32% (会員数125名×2回)	52.9% (会員数153名×2回)	61.5% (会員数130名×2回)																																																			
○	①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。																																																						
	②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点	町補助金の交付により、後援会の経費負担が軽減され、応援バスツアーが実施できている。																																																						
	③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点																																																							

4 効率性	(1) 事業費の推移 計 -1 点											
	区分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算額	R6事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	○	一般財源額		
	事業費	千円	707	1,035	1,167			低下している		1点		
	(財源内訳)	国・道費	千円				区分(節)	金額(千円)	変わらない		0点	
		地方債	千円				事業費	1,067	○ 上昇している		-1点	
		その他	千円	548	490	609	会議費	57	説明 応援バスツアー開催に伴うバス借上料が増加した。			
		一般財源	千円	324	707	764	役務費	43				
	(2) 手法の効率化 計 2 点											
	○	①現在の手法は、コスト削減にも寄与している。				1点	④法令等で実施内容や手法等が定められる。				1点	
		②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地はない。				1点	(説明) 手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。					
○	③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地はない。				1点	応援バスツアーのバス借上料にかかる経費を町が補助金という形で補うことで会員の負担軽減を図るばかりでなく入会意欲の醸成にも寄与している。						

項目別点数による評価	項目別点数による評価結果 B	項目別点数表		→	低 必要性+有効性 高										高達成度+効率性 低	
		項目	点数		0	1	2	3	4	5	6	7	8~			
		1	必要性 4	6												6
		2	有効性 2													
		3	達成度 1	2												4
		4	効率性 1													
																2
																1
																0
																-1
																-2

一次評価(担当課評価)	担当課評価	A	※上記の結果を参考に、事業担当課として、町民ニーズ、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 ※評価は、次のA~Dによります。																
	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも高い)																		
	○	現状のまま事業を継続				事業を拡充して継続													
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効率性は低い)																		
	事業の簡素化、効率化による改善				執行体制の見直し(外部委託等)による改善														
	事業手法の見直しによる改善				住民参加等の推進による改善														
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善				その他効果的・効率的手法の検討による改善														
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効率性は高いが、必要性・有効性は低い)																		
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討				対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討														
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討				他の事業、類似事業への統合・転換を検討														
計画期間の延伸、事業費平準化等を検討				その他															
D 事業の抜本的見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも低い)																			
廃止				統合				縮小				凍結				新たな事業への転換			
※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇄ 廃止可能 条件が整えば廃止検討可能 廃止は困難 その他																			
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。						今後の改善策等を具体的に記入します。												
	自治体初の北海道日本ハムファイターズ八雲後援会の知名度を保持し、町のPRとともに後援会の存続を永年保持し、観るスポーツを通じて会員相互の親睦と交流を図りたい。																		

A~現状のまま事業を継続または拡充 B~事業の進め方の改善により継続 C~事業規模・内容等の見直しの検討 D~抜本的見直しを検討

二次評価	外部評価委員会の点検・評価	A	☆コメント
	参加者にとって安価でバスツアーに参加できるメリットや自治体初の後援会として町のPRに活かすとともにスポーツの楽しみを広めたいことから担当課評価のとおり「A」評価とする。		